

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

「食中毒」大丈夫ですか？

梅雨の時期は体もだるく、体調も崩れがちで、食中毒にもなりやすくなります。今月は食中毒の予防の三原則と対策を説明します。まず最初に清潔が挙げられます。調理は衛生的な環境を整える為に新鮮な原材料と清潔な調理器具を使い、清潔な手指で扱うようにしてください。肉や魚はビニール袋や容器に入れ、他の冷蔵の食品に肉汁などがからないようにしましょう。続いて食中毒菌が増える時間を与えない為に迅速に調理を行う事が挙げられます。買物の際は肉や魚などの生鮮食品や冷凍食品は最後に買い、汁が他の食品に付かないように分けてビニール袋に入れましょう。帰り道は寄り道をせず家に着いたら冷蔵庫や冷凍庫に保管しましょう。また調理してから食べるまでの時間を出来る限り短くしましょう。最後に食中毒の滅菌の為に加熱や冷却が挙げられます。中心温度75度で1分以上で加熱し菌に適した増殖温度を与えない様にしましょう。冷蔵庫は5度以下、冷凍庫はマイナス15度以下に保ち、中身を詰めすぎると冷気の循環が悪くなる為詰めすぎないようにして下さい。

今宮

教えて！どんな資格？

今月の「教えて！どんな資格」は介護支援専門員を紹介いたします。介護支援専門員はケアマネージャー（略称ケアマネ）とも呼ばれ、要介護者などの心身の状況に応じた適切な介護サービスが利用できるよう、市町村や居宅サービス事業者、介護保険施設などの調整を行うものであつて、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門知識及び技術を有する者と定められています。居宅介護支援事業者および介護保険施設において介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービス提供事業者への申込などを支援する専門職として配置が必要とされた職種です。きつきケアプランステーション緒方ケアマネによると、「利用者様やご家族様が、自分らしく、心地よく生活していけるよう、介護サービス事業所や医療機関と連携していきます。お話をしっかりと聴きます。お気軽に、ご一報下さい。利用者様の生き様や経験に触れ、「自分が」あるいは「親が」通る道であると思うと、今後の自分の生き方を考える事ができる勉強の場でもあります。日々勉強させていただいています。」との事でした。

毎月二〇日発行

編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一

編集後記

先日、中津市大貞野球場にウエスタンリーグのソフトバンクVSカープ戦を観戦に行きました。10：30開場、12：30試合開始でしたが、この日はソフトバンクの松坂投手が登板すると事前に報じられていた為、私が球場に着いた頃（9：30）には長蛇の列が出来ていました。開場一時間前から一人で並んでいた私は5列前に同じく一人で並んでいる60代の男性が目につきました。雰囲気の良い桜金造さんに酷似しているのでもう一度見たいと、金造は既に一杯やっている様子で周囲の親子連れや、カープ女子に絡んでいました。面倒な事が大嫌いな私は出来る限り目を合わせないようにしました。しかし、しかし、聞こえてきます。酒やけした声「兄ちゃん、兄ちゃん、カープファンやる！？」もちらんカープファンですが聞こえない（気づかない）ふりをしていました。「兄ちゃん、堂林ファンの兄ちゃん！」堂林のユニフォームを着ているのは私だけです。仕方なく、金造の方を向くと、「兄ちゃん、こっちおいで！」との声。良い席を確保する為に朝早くから並んでいる方を差し置いて前に行けるわけありません。「いいいえ、結構です。」と丁寧に断りを入ると、なんと周囲の方も「どうぞ、どうぞ」と私を促します。よっぽど金造が迷惑だったのでしょうか。「よし！人柱が見つかった！」ってな具合なのでしょう。仕方なく順番抜かしをしながら金造の所に行くと、周囲の方々は安堵の表情です。内心「くそ！俺を人柱にしよう！」と思いつつ金造の話を聞きました。全く私と関係の無い中津市政への不満や、競馬の話や、西鉄ライオンズの話や、松坂投手の悪口等々です。我慢です。開場まで後30分、耐え続けなければなりません。一通り私に話した金造は、試合のスタッフ（市の職員？）さんに絡み始めました。「やい！何時間待たせるんや！早く開場せんか！松坂居るんや！出て来んかい！」チケットにも開場10：30と書かれているのに勝手に朝早く並んでいるのは金造の方です。松坂投手が金造に用事があるとは全く思えません。しかも周囲からは完全に私も仲間と思われています。開場しました。一目散に走り良い席を確保する金造を横目に私は少し離れた席を確保しました。隣は空いています。案の定、私を見つけた金造が座りました。隣は空いています。試合のおしゃべりが止む事は無かったです。そしてカープはボロ負けしました。松坂投手も投げませんでした。そんなある休日でした。高尾

社会福祉法人ひまわり理念
・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること
基本方針
・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく気持ちの良い態度で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

ここにひまわりを...
第98号
ひまわり
社会福祉法人 ひまわり 広報部発行
0978-52-2233 0978-66-5500
http://www.wel-himawari.net

平成27年度第1回社会福祉法人ひまわり理事会

五月十九日、平成二十七年度第一回目の社会福祉法人ひまわり理事会・評議員会が開催されました。議事内容は、平成二十六年決算報告ならびに監査報告が行われ、いずれも原案通り承認されました。平成二十七年度は介護保険報酬改定があり、在宅サービスも施設サービスも大幅な減収の見込みとなりますが、長年法人で取り組んでいる資格取得勉強会にて有資格者が増えた事により各種加算が算定できる事や、サービス面をより充実させ選んで頂ける事業所になる事で減算改定を乗り越えていきたいとの報告がありました。また、その中で、利用者の不利益とならないよう、行き届いたサービスを提供するための予算はもちろんです。職員の処遇改善等にも予算も確保することと承認されました。なお、平成二十六年度の決算報告ならびに平成二十七年度事業計画は六月下旬より社会福祉法人ひまわりのホームページ上（http://www.wel-himawari.net）で公開する予定です。

平成27年度 瑞雲荘運営支援委員会

6月5日に平成27年度瑞雲荘運営支援委員会が開催され、現状報告や、杵築市との覚書の履行状況について話し合い、意見交換を行いました。その中で瑞雲荘の建替えについては平成26年度の着工予定で大分県と協議を開始している事を報告しました。その際、現在の多床室からユニット型個室への変更がある為、利用料金が高くなってしまう事について懸念する意見もあり、建替え以前に入所されている方々へは可能な限り負担を掛けない方針を説明させて頂き、7月に開催する瑞雲荘家族会にてご家族の意見をまとめる事を報告しました。



イメージキャラクター 募集について

4月から応募を募っていましたが社会福祉法人ひまわりのイメージキャラクターですが応募締切を6/31から7/31に変更します。ふるって応募下さい！

【ひまわりのキャラクターがあるといいな・・・】実は、ひまわり公式キャラクターは、法人内でも何度も話題になっていたのですが、この度、広報誌ひまわりが今年の8月に100号を迎えるという節目を契機に一般公募する事になりました。ひまわりらしい、皆様に愛されるキャラクターの応募を期待しております。

募集期間 平成27年 7月31日まで

募集内容 (1) ひまわりのイメージにふさわしいキャラクターであること (2) 必ず自作のオリジナル作品で応募ください。 (3) キャラクターの愛称をデザインと一緒に付けてください。

応募方法 (1) A4用紙に彩色したデザインをはっきりと描いてください。 (2) 手書き、電子データ等、作図の方法は問いません。作品の応募は、持参・郵便またはEメールで応募ください (FAXは不可。)

作品郵送先・問い合わせ先
〒879-0902
杵築市大田町2380番地 特別養護老人ホーム瑞雲荘 0978-52-2233 (担当 高尾)
Eメール takao@wel-himawari.net

ひまわりハウス

避難訓練

6月7日に杵築市一斉風水害避難訓練に参加しました。風水害と言えは、中津市耶馬溪、日田市等大分県内でも豪雨による河川の氾濫など被害が出たのも最近の話です。実際に起こった時に職員はどう動くべきか、やはり日頃の訓練がとても大切だと感じます。

訓練の結果として、利用者様、職員全員がひまわりハウス建物外に出るまで5分掛り、避難場所である東大内山の集落センターに着くまで10分の時間を要しました。集落センターには既に地域の方々が集まっております。中でも高齢の方が多く感じました。独居の方や高齢者世帯の方なども居られると思います。災害時こそ、地域の連携が最も必要ではないのでしょうか。



実際に災害が起きた時、目の前の命を守ることでいっばいだとは思いますが、地域に協力を仰ぎ、また地域に協力することで助かる命も増えるのではないのでしょうか。今回は地域との連携、助け合いを改めて考えさせられた訓練になりました。今後、もっと地域と助け合い、支え合えるひまわりハウスを目指していこうと思います。



利用者様の人生歴

利用者の足立悦雄様との会話の中で、「昔、わしは駆逐艦に乗ったんじや」と戦時中のこと等を語ってくださいました。「わしの弟も潜水艦に乗ったんじやが、敵の攻撃を受け沈没して弟は亡くなつた」と悲しい現実も話してくださいました。そして、「戦争体験記」と題した冊子

を職員に見せてくださいました。これは足立様が昭和15年から昭和30年までの実体験を綴っているもので、中でも「隊長から明日、ソ連に連行されることが決まったと約80人程の兵に言いわたされた。その日の夜中にわしがリーダーとなり20人の同僚を引き連れ、ソ連行きから脱出した。隊長や残っている同僚には本当に申し訳なかったが、わしについて来てくれた20人は1人もかけることなく無事に全員故郷に帰還できた。今でもそのことは頭から離れん、家に帰ったら集落の人がみんなでおかえりと祝ってくれたんじや」と話してくださいました。この話を聞き、利用者様を知るということは、ただ今の姿を見るだけではなく、その方の人生歴を知ることでも大事なことなのだと感じさせられました。今後、他の利用者様にも昔の話など伺い、紹介していこうと思います。足立様本当にありがとうございました。



きつきの里デイサービス

ドライブ行事

きつきの里デイサービスでは5月と6月の天気の良い日を選び日出町大神の回天神社へドライブに出掛けました。神社に到着すると皆様すぐに海を見下ろせるベンチに座って景色を楽しんでいました。また、この回天神社には1/3の回天模型と93式魚雷機関が奉納されています。皆様それぞれの思いでお参りしたと思います。その後、実物大の回天模型が設置された公園にも行いました。

戦後70年になりすが、この先もずっと平和に暮らせるように戦後の歴史、過去の人々の願いを受け継ぐことが大切な事ではないでしょうか。



白百合幼稚園児来所

6/12に杵築市仲町にある白百合幼稚園の園児10名が来所し元気な歌声と花束のプレゼントをしてくれました。利用者様方は突然の小さなお客様にとても喜ばれていました。元気のよい歌声に「えらしいなあー。よいう声がそろうちよるわ」と感心の声があがりました。白百合幼稚園の皆さん有難うございました。



瑞雲荘

紫陽花観賞

瑞雲荘では紫陽花観賞ドライブに行つて来ました。場所はホーランエンヤが行われることで有名な豊後高田市の若宮八幡で、境内では綺麗な紫陽花を沢山見る事が出来ました。今回はあいにくの天気で、本来であれば境内で観賞できるはずのアジサイを車の中から観賞する事になってしまいました。

三楽園デイサービス

紫陽花ドライブ

た。しかし、利用者様からは「いろいろな色があつて綺麗やなあ、雨にぬれちよんのもいいわ。」「いいもん見られて良かった。」「との声が聞かれました。また楽しいドライブを行えるよう計画したいと思ひます。



三楽園でも紫陽花ドライブに出掛けました。この時期に咲く紫陽花は赤や青、白やピンクと様々な色を付けており私たちを楽しませてくれます。「白が綺麗や、いや青の方が綺麗や」と利用者の皆様も会話弾みます。傍には田植えの準備をされている農家の方々も見られ田舎ならではの、この景観に楽しい様子でドライブに参加してされてました。